



南京農業大学

Nanjing Agricultural University



●学部学生 約17,000人 ●大学院生 約15,000人 ●教職員 約2,700人 ●留学生 約380人

ホームページ <http://www.njau.edu.cn/>

交流協定締結年月日：2001年7月4日 主管学部：農学部



南京農業大学本部



留学生寮



南京夫子廟の夜景

国際交流の特色

中国農薬部に所属する重点大学で、中国で最も古い有名な農業大学のひとつ。メインキャンパスは南京市郊外の景勝地に位置し、校地面積9km²、校舎敷地面積72万m²、図書館蔵書206万冊を有している。農学を主体に、工学・理学・経済学・文学といった教育研究分野も拡充されつつある。本学農学部との間で、学生の受入・派遣による交流が進んでいる。



白馬キャンパスは国家農業技術開発の中心地にある

交流実績（令和2年度～令和4年度）

年度	R2	R3	R4
受入・派遣			
学生の受入	0	0	0
学生の派遣	0	0	0
研究者・職員の受入	0	0	0
研究者・職員の派遣	0	0	0
オンライン交流参加者（本学）	1	6	0
オンライン交流参加者（相手機関）	1	2	0



南京農業大学での研究交流

教員からの声

南京農業大学との交流は、元学長の一井眞比古先生と洪徳林博士とのハイブリッドライスに関する共同研究をきっかけとして始まりました。現在、食品科学分野の留学生の受入・派遣を中心に、学生の研究交流が活発に行われています。南京農業大学では食品分野を中心に研究の起業化を支援し、安全・安心な食品（南京ダック）を市民に積極的に提供しています。白馬キャンパスは800haほどの広さの敷地があり、国家農業技術開発地域の一部に指定されました。

田村啓敏（農学部名誉教授）

学生からの声

2010年10月から2年間、農学研究科日本の食の安全留学生特別コースにて食品製造時の安全性について学びました。食品機能化学研究室では、アレルギーを抑制する食品成分の探索研究を行い、貴重な経験を積むことができました。現在は、日本の食品会社で、仕事をしていますが、大学院で学んだことが、少なからず役立っていることに感謝しています。

2012年卒 張 婷（南京農業大学）